



6月1日 千葉開府の日

■千葉のまちの始まりと千葉開府900年

「千学集抜粋」の記述によると、1126年（大治元年）6月1日に千葉常重が現在の中央区亥鼻付近に本拠を定めてまちが成立したとされており、市ではこの日を「千葉開府の日」としています。千葉のまちと、2026年（令和8年）に迎える「千葉開府900年」への関心を皆さんに高めてもらうために記念事業を開催するなど、市を挙げて盛り上げていきます。



千葉のまちとしての歴史は長く、平安時代にまで遡ります。6月1日の千葉開府の日に関連し、まちの始まりやさまざまなイベントを紹介します。

問都市アイデンティティ推進課 ☎245-5660 FAX245-5534

■千葉一族の中興の祖 千葉常胤

千葉氏は平安時代の終わりから戦国時代まで下総国（現在の千葉県北部など）を支配した関東の武士団です。

千葉に本拠を移した常重の子・常胤は、源頼朝を助け、鎌倉幕府の創設に大きく貢献した人物で、頼朝の下、10年足らずで全国各地に領地を獲得し、千葉一族の勢力を拡大しました。



千葉開府900年記念 ロゴマーク・キャッチコピー大募集！

千葉開府900年記念事業を盛り上げていくため、「未来の千葉市をみんなで創っていききたい！」と思えるような、みんなのシンボルとなるロゴマーク・キャッチコピーを大募集します。

賞に選ばれた方には、賞金や賞品を贈呈します！応募方法、応募条件など詳しくは、[千葉開府900年 ロゴ](#) 🔍



	最優秀賞（各1点）	優秀賞（各3点）	チャレンジスピリット賞（各3点）
ロゴマーク	賞金10万円	賞金2万円	1万円相当の賞品
キャッチコピー	賞金5万円	賞金1万円	5千円相当の賞品

* 未成年が受賞した場合は保護者の同意が必要です。また、中学生以下が最優秀賞、優秀賞を受賞した場合は同額の図書カードを贈呈します。

問千葉開府900年ロゴマーク・キャッチコピー事務局 ☎307-6541（平日10:00～17:00）

千葉開府まつり2024

千葉開府の日にちなみ、千葉開府まつり2024を開催します。

イベントスケジュールなど詳しくは、[千葉開府まつり](#) 🔍

日 時 6月1日(土)、2日(日)10:00～16:00
会 場 本町公園（中央区本町3）

問千葉開府まつり2024事務局 ☎0570-030333（平日10:00～17:00）

郷土博物館のイベント

千葉氏公開市民講座 武士の起源について

平安時代中期は紫式部や清少納言が活躍したことで有名ですが、この時期は次代の主役である「武士」の勃興期でもありました。武士の起源や発展の歴史を、千葉氏の成立を交えながら最新研究に基づき紹介します。

問6月29日(土)13:30～16:00

問蘇我コミュニティセンターハーモニープラザ分室

問桃崎有一郎さん（武蔵大学人文学部教授）による講演
問200人

問6月14日(金)までに、電子申請で。往復はがき（1人1通）に必要事項15面を明記して、〒260-0856中央区亥鼻1-6-1千葉市立郷土博物館へ郵送も可。

問郷土博物館 ☎222-8231 FAX225-7106 月曜日（祝・休日の場合は翌日）休館

パネル展「千葉氏をめぐる水の物語」も開催します！



5/28(火)～9/29(日)まで、1階展示室で開催します。

いがらしかん 画「千葉氏」

千葉開府

900年への道

四、千葉氏はなぜ千葉の地を本拠としたか



古代東海道の一部

千葉常胤は、源頼朝を助け、鎌倉幕府の創設のために大きな功績を残したことで知られていますが、常胤の父、千葉常重は、なぜ千葉のまちに本拠を移したのでしょうか。

常重は、かつての本拠地である現在の緑区大椎の地から「大椎常重」を名乗っていました。大椎は、下総国と上総国の境にある海へと通じる街道が近くにあり、利便性があった

のです。当時、都からの人や物が流通する東海道は、相模国（神奈川県）の三浦半島から東京湾を渡り、上総国（千葉県中部）の富津岬の北に位置する大前に上陸して下総国（千葉県北部など）を通り、常陸国（茨城県）を結んでいました。そして、東海道から下総国・武蔵国（埼玉県・東京都など）へ至る道が千葉付近（河曲）で分かれており、千葉

は交通の分岐点として重要な土地でした。常重は、自分の父から領地を継承し、相馬郡（茨城県守谷市や千葉県我孫子市など）、立花郷（香取市、香取郡東庄町）、麻績郷（香取市）などを得た後、1126年（大治元年）6月1日に現在の中央区亥鼻付近に本拠を移し、「千葉常重」と名乗るようになりました。当時は水上交通も盛んで、千葉は港として利用できる場所もあったので、広範囲の領地を管理するのに便利だったのです。また、千葉は谷津田（谷状の地形にある湿田）がいくつもあり、高い生産力にも恵まれている土地でもありました。こうして、千葉のまちは水陸の交通の要衝として発展しました。大正時代の市制施行時の人たちも常重が本拠としたことを「千葉開府」と呼び、千葉のまちの発展のきっかけとしたようです。